

令和6年度の教育活動等に対する学校評価書

学校法人静岡聖母学園 沼津聖マリア幼稚園
園長 鈴木 則子
沼津聖マリア幼稚園 学校関係者評価委員会
委員長 田村 儀朗

1 幼稚園の教育目標

- ①自由遊びや様々な活動を通して、行動力・創造力を育てる。
- ②祈り感謝する。(周りの人や自分を大切に。「ありがとう。」という感謝の気持ちを育む。)
- ③友だちと関わる中で、わかり合い、育ちあう。

2 本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画)

- ・園外へ出掛ける機会や、地域との交流の機会を積極的に作る。
- ・保護者と職員間での理解の行き違いがないように、わかりやすい内容を精査して情報を共有する。
- ・園外・園内ともに職員が研修に参加する機会を増やし、様々な分野の視野を広げるとともに深め共有する。
- ・園内の老朽化による危険な箇所への対策を検討し、改善していく。

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価

| 評価項目 | | 自己評価(令和 7年 2月 28日) | | 学校関係者評価(令和 7年 3月 4日) | | |
|-------|----|--------------------|---------------|--------------------------------------------------------|-------|------------------------------------------------------------|
| | | 評価点 | 幼稚園の取組・反省と改善策 | 評価点 | 評価・意見 | |
| 教育内容 | 1 | 理念・方針 | A | | | |
| | 2 | 園の課題 | B | 保護者からの意見・要望に真摯に向き合い対し、職員間で共有した。 | B | |
| | 3 | 行事の精選 | A | | A | |
| | 4 | 園児指導 | B | 一人ひとりの発達に沿った指導を心掛け、保護者間でもよく話し合うようにした。 | B | 今後も職員間での子どもの情報共有を続けてほしい。 |
| | 5 | 免許・資格 | A | | A | |
| | 6 | 職員の課題 | B | それぞれに課題を持ち、取り組んだ。 | B | |
| | 7 | 研修の企画 | C | 外部研修の機会をもっともちたかったが、余裕がもてず機会が整わなかったため、参加はしているが十分とは言えない。 | B | 時間がないので仕方ない。 |
| | 8 | 環境設定 | A | | A | 季節に合わせた掲示物など、いつも工夫しており、とても良いと思います。 |
| 子育て支援 | 9 | 未就園児 | A | | A | ぶちまりあに行くと、すぐく手の込んだお土産をもらえたり、内容を工夫してあったりと楽しめるようにしてくれ、ありがたい。 |
| | 10 | 在園児 | A | | A | 何かあったときには、先生に相談しやすい。 |
| | 11 | 児相等の連携 | A | | A | |
| | 12 | 預かり保育内容 | A | | A | |
| | 13 | 預かり保育体制 | B | 日によって過不足があり、職員で都合して対応している。 | A | |
| 安全管理 | 14 | 施設と設備 | B | 常に安全であるかチェックを行い、できることから1つずつ修繕している。 | B | 何かあってからでは困るので、チェックをしっかりと行い、必要などころは直して行ってほしい。 |
| | 15 | 防犯体制 | B | 教会への出入りは誰でもできるので、園舎への出入りをしっかり確認している。 | B | 防犯カメラや明かりなど、できる対策はとっていただき、防止・抑止につなげる。 |
| | 16 | 安全衛生管理 | A | | A | |
| | 17 | アレルギー対応 | A | | A | |
| | 18 | 防災対策 | A | | A | |

| 評価項目 | | 自己評価(令和 7年 2月 28日) | | 学校関係者評価(令和 7年 3月 4日) | |
|------|----|--------------------|---------------|---------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| | | 評価点 | 幼稚園の取組・反省と改善策 | 評価点 | 評価・意見 |
| 人事管理 | 19 | 労働条件明示 | A | | |
| | 20 | 時間外勤務 | A | | 作品展が毎年すぐくて嬉しい反面、先生方の負担になっていないか少し心配。もし大変で残業や持ち帰り作業等になっているとしたらもっと簡単なものにしても大丈夫です。 |
| | 21 | 就業規則 | A | | |
| | 22 | 労働者名簿 | A | | |
| | 23 | 自己評価 | A | | |
| 財務管理 | 24 | 予算作成 | A | | |
| | 25 | 決算の分析 | B | 園舎の築年数が経過しているため、今後も修繕費の発生が見込まれるが、無駄な経費は削減するよう努める。 | |
| | 26 | 情報開示 | A | | |
| | 27 | 個人情報保護 | A | | |
| | 28 | 経理規程 | A | | |

※自己評価、学校関係者評価とも1～28の各評価で特筆すべき点がある場合、またはC、Dの評価点の場合はコメントを記入のこと。

評価結果の表示方法

| | |
|---|--------------------|
| A | 十分達成されている |
| B | 達成されている |
| C | 取り組まれているが、成果が十分でない |
| D | 取り組みが不十分である |

4 今後取り組むべき課題

| 課題 | 具体的な取組方法 |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 安全管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員の危機管理への意識を高め、防犯対策などもしっかり行う。 ・園内の老朽化による危険な箇所への対応を検討し改善していく。 |
| 職員のスキルアップ | <ul style="list-style-type: none"> ・職員の体制を整え、職員が安心して研修に参加できる機会を設け、スキルアップをはかる。 |
| 小学校との接続・連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の連絡会・研修会に参加し、スムーズな就学に向けて、小学校との連絡をできるだけとり、共働したカリキュラムを作成する。 |

5 自己評価、学校関係者評価の公表

●公表期間 令和 7年 3月 11日 ～ 令和 7年 4月 10日

●公表方法 学内掲示板による

記入日 令和 7年 3月 7日

記入者 園長 鈴木 則子

